

# + Viva Kango

Campus News of the Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学



前日までの雪もやみ、暖かな春の陽射しに恵まれた四月五日、本学講堂において平成十八年度入学式が挙行されました。大学院修士課程五名、学部一一一名（女子九二名、男子十九名）が、松本光子学長より入学を許可されました。

学長式辞では「キャリア」という視点から看護学の学習過程についてお話がありました。続いてご来賓の日本赤十字学園理事長大塚義治氏（日本赤十字社看護部長浦田喜久子氏代読）、

## 平成十八年度 入学式



新入生代表

北見市長職務執行者田中誠氏、日本赤十字社北海道支部長伊藤義郎氏（副支部長沼田果子氏代読）よりご祝辞を賜りました。学生自治会長中村隆治さんからは、歓迎の挨拶、最後に新入生代表赤坂詩穂さんの誓いの言葉をもって式は無事に終了しました。

翌四月六日には、本学のアーナにおいて学生自治会主催の新入生歓迎会が開催されました。会は、松本学長の挨拶とニッ森学部長の乾杯に始まり、教員紹介に続いて学生と教職員が共に「世界に一つだけの花」を合唱し新入生を歓迎しました。クラブ紹介ではハンドベル、吹奏楽、よさこいなど活気に満ちた活動内容の披露があり、新入生の新たな学生生活の門出を在学学生、教職員が共に祝い、喜びを分かち合いました。

### 新入生歓迎の ことば



学長  
松本光子

本学では去る四月五日、平成十八年度の入学式を挙行し、学部一一一名、研究科五名が入学されました。入学おめでとうございます。

看護学は新しい学問領域ですが、人々にとっていつも必要な人の安寧と福祉に繋がる重要な分野です。近年の社会変動や疾病構造の変化、また医学などの関連分野の進歩に伴い、看護学の領域も拡大し、社会からの役割

期待も大きく、重くなってきました。入学生のみならず、この可能性の多い責任の重い分野を将来の自己の方向として選ばれたことは、大変喜ばしいことです。

大学には多様な資源があります。図書・情報・実験・実習などの諸設備や人的資源も豊富です。学び方、つまり利用の仕方によって多に成果があります。今もこれからの変化の早い時代ですから、単に提供されることを追い求めるだけでは十分ではなく、学習の中心は自学自習と資源の活用にあります。それは物事を追求する態度と方法が肝要になります。長い人生の道程で青年期の能力の充実している時期に、多いに得るものは修得し、人々との出会いを大切に、成長の糧にされることを期待してあります。

### 平成18年度入試概況

試験区分	推薦入学試験		一般入学試験	大学入試センター試験利用入試	社会人入学試験
	公募推薦	指定推薦			
募集人員	35名	10名	45名	10名	若干名
志願者数	57名	8名	207名	121名	5名
受験者数	56名	8名	196名	121名	5名
合格者数	43名	8名	97名	36名	5名
実質倍率	1.3倍	1.0倍	2.0倍	3.4倍	1.0倍

■入学者都道府県（出身高校）別内訳  
 北海道（99名）・青森県（1名）・岩手県（1名）  
 茨城県（1名）・栃木県（1名）・東京都（1名）  
 新潟県（1名）・長野県（1名）・三重県（1名）  
 滋賀県（1名）・愛知県（1名）・福岡県（1名）

#### 男女別内訳



#### 新卒・既卒者内訳





平成十七年度 卒業式  
— 大学院生 五名修了 学部生 一〇五名卒業 —

平成十八年三月八日、本学講堂において平成十七年度看護学研究科修了式ならびに看護学部卒業式が父母・来賓・関係者多数ご臨席のもと、盛大に挙行されました。

全員で御歌「四方の国」を斉唱後、松木光子学長より看護学研究科修了生五名（代表山口さつきさん）に修士学位記、看護学部卒業生一〇五名（代表鈴木夕子さん）に卒業証書・学位記が授与されました。松木学長は式辞で、先輩の築き上げた技能や知識をしっかり受け継ぎ、さらに創造性豊かによりよい看護をつくるよう励まし、ブレインナ―博士の「work hard! 一生懸命努力しなさい」という言葉をはなむけの言葉として贈



りました。日本赤十字学園理事長大塚義治氏の挨拶に続いて来賓の方々の祝辞・在校生の送辞を受け、千葉明子さんが卒業生を代表して答辞を述べました。千葉さんは自分の勉強不足や未熟さに行き詰まりを感じた時もあったが、友人や現実と立ち向かう患者さんの力強い姿に励まされ乗り越えることができたこと振り返りました。最後に祝福と

卒業生からのメッセージ



北見赤十字病院 助産師 鈴木夕子

在学生のみなさんこんにちは。私は、この春大学を卒業し、この文章が載る頃には北見赤十字病院の産科に勤務していると思います。今は四月からの新しい生活に期待と不安でいっぱいです。新学期を迎えたみなさんと同じ気持ちなのではないでしょうか？  
振り返ると四年間の大学生活はあつという間でした。実習で

は、感動して流す涙もありましたが、辛くて泣いたこともあります。三年生の後期から始まる実習は大変ですが、患者さんの様々な思いに触れることができ、その度に自分も考え成長していくことができそうです。実習は一人の患者さんとじっくりと関われる学生にしかできない貴重な体験なので、辛いこともあると思いますが、頑張つて欲しいと思います。一〜二年生のみなさんは学内での授業が多いのですが全て三年生からの領域別実習につながっていくので、自分の楽しみも入れながら、少しずつ学習しておくことがポイントです。頑張つたことの結果は必ず出ると思うので、目の前にあることひとつひとつを大切にしてお互い頑張つていきましょう。



激励の花束贈呈があり、「ほたるの光」の歌をもって無事に終了しました。

教職員人事

- 【退職】
- 平成十八年一月三十一日付 助手 戸田亜紀子
  - 平成十八年三月三十一日付 教授 二ツ森栄子
  - 講師 岡本明子
  - 講師 福家修子
  - 助手 塚辺蘭子
  - 事務員 山本 明

第4回卒業生の進路について

	道内	道外	合計
赤十字関係	53	11	64
国公立医療機関	1	1	2
大学病院	2	5	7
公的・各種団体医療機関	12	1	13
医療法人	3		3
進学	3		3
その他	3	1	4
合計	77	19	96

- 赤十字関係内訳
- 【道内】北見赤十字病院、旭川赤十字病院、釧路赤十字病院、山手赤十字病院、伊達赤十字病院、函館赤十字病院、浦河赤十字病院
- 【道外】成田赤十字病院、石巻赤十字病院、長岡赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院、武蔵野赤十字病院、日本赤十字社医療センター、和歌山医療センター
- 【進学先】天使大学大学院助産研究科

- 【採用】
- 平成十八年四月一日付 特任教授 二ツ森栄子
  - 講師 常田美和
  - 助手 澤井幹樹
  - 坂田志保路
  - 鳥巢妃佳里
  - 服部一喜
- 【昇任】
- 平成十八年四月一日付 講師 笹原千穂

編集後記

残雪が消え、畑が耕されて春の香りをを感じるようになりました。自然のなかに命の勢いを感じる季節に新たな学生、職員と教官を迎え、学内は洗練とした空気に包まれています。今年も+ Viva Kangoは三回の発行を予定しています。折々の行事や話題を織り込んで皆様にお伝えする所存ですので、編集についてご意見があればどうぞお寄せください。

日本赤十字北海道看護大学内誌

+ Viva Kango

第16号

発行日/2006年5月17日  
編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1  
TEL(0157)66-3311 FAX(0157)61-3125  
mail to: kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp  
http://www.rchokkaido-cn.ac.jp